

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		屋外広告物管理事業				部名	建設水道部		グループ名	都市計画グループ	
						課名	都市計画課				
総合計画	施策大綱(目標)	5	快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	快適に住み続けられる住環境づくり				款	8	土木費	事業開始年度	平成21年度
	施策	1	良好な住環境づくりの推進				項	4	都市計画費	事業終了年度	
	主な事業						目	1	都市計画総務費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 5217		屋外広告物法栃木県屋外広告物条例		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	Ⅲ		補助団体					
裁量の有無		裁量なし	総合戦略	②	(ア)②						
2. 事業内容											
事業目的		屋外広告物の許可等について、地域の実情に応じた的確な対応を可能とするため、平成21年度から全市町に権限委譲となり、市において屋外広告物の管理を行う。									
事業概要		屋外広告物の新規・更新の許可事務、住民参加型違反屋外広告物除去推進に係る事務、違反広告物への是正指導などを行う。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		・屋外広告物許可証票の発行 ・住民参加型違反屋外広告物除去推進 ・違反広告物の是正指導	・屋外広告物許可証票の発行 ・住民参加型違反屋外広告物除去推進 ・違反広告物の是正指導	・屋外広告物許可証票の発行 ・住民参加型違反屋外広告物除去推進 ・違反広告物の是正指導	・屋外広告物許可証票の発行 ・住民参加型違反屋外広告物除去推進 ・違反広告物の是正指導	・屋外広告物許可証票の発行 ・住民参加型違反屋外広告物除去推進 ・違反広告物の是正指導	・屋外広告物許可証票の発行 ・住民参加型違反屋外広告物除去推進 ・違反広告物の是正指導				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	78	442	480	569	569					
	予算現額	3,984	480	569							
	決算額	3,650	435								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	600	480	569	516	516					
	一般財源	3,384	0	0	53	53					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	屋外広告物管理システムを活用した効率的な適正管理									
	B) Aにおける対応策	システムを導入し、管理の効率化を図った。									
	C) 新たな課題等	違反屋外広告物への是正指導									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難 <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		定住希望者住宅取得支援事業				部名	建設水道部		グループ名	都市計画グループ	
						課名	都市計画課				
総合計画	施策大綱(目標)	5	快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	快適に住み続けられる住環境づくり				款	8	土木費	事業開始年度	平成26年度
	施策	1	良好な住環境づくりの推進				項	4	都市計画費	事業終了年度	
	主な事業				目		1	都市計画総務費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 5248		下野市定住促進住宅新築等補助金交付要綱		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	Ⅲ		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	②	(ア)②						
2. 事業内容											
事業目的		急激な少子高齢化や人口減少が進む中、大都市への人口集中が加速しており、都市から地方への新しい人の流れを創るため、東京圏からの市内定住希望者の住宅取得に際し支援を行い定住促進を図る。									
事業概要		東京圏からの市内定住希望者への住宅取得に際しての支援として、住宅の新築及び購入または中古住宅及び建替住宅に対し補助を行う。基本額を新築住宅30万円、中古住宅10万円とし、居住誘導区域内または郊外型居住区域内に住宅取得の場合10万円加算、申請者または配偶者が40歳未満の場合10万円加算、中学生以下の子どもがいる場合は1人につき10万円加算、下野市空き家バンクに登録されている物件を購入の場合10万円を加算。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		住宅取得時等支援 15件	住宅取得時等支援 15件	住宅取得時等支援 15件	住宅取得時等支援 15件	住宅取得時等支援 15件	住宅取得時等支援 15件				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	4,883	10,518	10,518	10,518	10,518					
	予算現額	10,583	14,018	10,512							
	決算額	9,500	9,500								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	10,583	14,018	10,512	10,518	10,518					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		定住促進住宅新築等補助件数				指標の計算式等					
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	目標値は各年の件数。家庭菜園整備補助はR2年度終了のため、新築等補助件数に変更。				
実績値		17件	10件	16件	15件	10件					
目標達成率		61/70		100%	100%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	中古住宅の有効活用を促すための、新築以外の物件に対する補助の検討									
	B) A)における対応策	中古住宅、建替え住宅を補助対象とすることとし、対象住宅拡充に伴う補助額の見直しを行った。									
	C) 新たな課題等	制度拡充に伴い、さらに周知を図る必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input checked="" type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				令和3年度						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		市営住宅管理事業				部名	建設水道部		グループ名	都市計画グループ	
						課名	都市計画課				
総合計画	施策大綱(目標)	5	快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	快適に住み続けられる住環境づくり				款	8	土木費	事業開始年度	平成18年度
	施策	1	良好な住環境づくりの推進				項	5	住宅費	事業終了年度	
	主な事業						目	1	住宅管理費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		5417	公営住宅法、下野市営住宅管理条例、下野市営住宅管理条例施行規則	
事業の種類		ソフト事業	類型区分	Ⅲ		補助団体					
裁量の有無		裁量なし	総合戦略	②	(ア)②						
2. 事業内容											
事業目的		住宅困窮者に対し、公営住宅法に基づく低額な使用料で賃貸することにより、生活の安定と社会福祉の増進を図る。									
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在2棟4室のうち2室入居している。現状維持の管理に務める。</li> <li>・市営住宅の維持を続けるため、下野市公営住宅等長寿命化計画に基づき、修繕を行いながら維持していく。</li> </ul>									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		市営住宅2棟2室の維持管理。 民間住宅の借上げや家賃補助等による施策について検討、決定を行う。	市営住宅2棟2室の維持管理。	市営住宅2棟2室の維持管理。	市営住宅2棟2室の維持管理及び修繕。	市営住宅2棟2室の維持管理及び修繕。					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	519	520	520	520	520					
	予算現額	520	520	743							
	決算額	78	512								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	302	303	300	0	0					
	一般財源	218	217	443	520	520					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値		4室中2室入居。		4室中2室入居。							
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	新しい施策の素案について精査を行い、関係機関との連携を図り、方針を決定する必要がある。									
	B) Aにおける対応策	市営住宅を存続する方針となった。									
	C) 新たな課題等	公営住宅等長寿命化計画の見直しを行い、維持修繕を行いながら市営住宅を管理していく必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				<input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難		ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている			
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		地籍調査事業				部名	建設水道部		グループ名	管理グループ	
						課名	建設課				
総合計画	施策大綱(目標)	5	快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	快適に住み続けられる住環境づくり				款	8	土木費	事業開始年度	平成18年度
	施策	3	土地利用の推進				項	1	土木管理費	事業終了年度	
	主な事業				目		1	土木総務費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 10203		・国土調査法・国土調査促進特別措置法		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量なし(一部あり)	総合戦略	②	(ア)①						

2. 事業内容									
事業目的		地籍調査は土地を一筆ごとに地番、地目、境界等の調査と境界の測量及び面積の測定を行う調査であり、その成果である地図(地籍図)と台帳(地籍簿)を法務局に送付することにより、法務局備え付けの公図や登記簿が更新される。地籍調査を実施することにより、土地に関する実態を正確に把握し、あらゆる行為の基礎資料として広範囲に利用することが可能となる。							
事業概要		調査区域を選定し、1調査区域当たり2カ年計画で測量業者に委託し本調査を行う。1年目では基準点設置、境界立会い、及び測量の業務を行い、2年目では、面積測定、地籍図地籍簿作成及び成果の閲覧を行う。本調査終了後、成果を整理し国の認証を受け、法務局に成果を送付する。最終的には区画整理実施済区域や土地改良実施済区域を除いた市内全域を調査する。							
事業計画(基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			
		・本調査 [新]下坪山I(0.29km <sup>2</sup> ) [継]小金井VIII(0.40km <sup>2</sup> ) ・認証業務(0.50km <sup>2</sup> ) ・登記業務(0.50km <sup>2</sup> )	・本調査 [新]下坪山II(0.51km <sup>2</sup> ) [継]下坪山I(0.29km <sup>2</sup> ) ・認証業務(0.40km <sup>2</sup> ) ・登記業務(0.40km <sup>2</sup> )	・本調査 [新]下坪山III(0.21km <sup>2</sup> ) [継]下坪山II(0.51km <sup>2</sup> ) ・認証業務(0.29km <sup>2</sup> ) ・登記業務(0.29km <sup>2</sup> )	・本調査 [新]下坪山IV(0.41km <sup>2</sup> ) [継]下坪山III(0.21km <sup>2</sup> ) ・認証業務(0.51km <sup>2</sup> ) ・登記業務(0.51km <sup>2</sup> )	・本調査 [新]仁良川II(0.45km <sup>2</sup> ) [継]下坪山IV(0.41km <sup>2</sup> ) ・認証業務(0.21km <sup>2</sup> ) ・登記業務(0.21km <sup>2</sup> )			

◎事業費						
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	計画額	25,374	22,467	23,014	32,414	39,878
	予算現額	24,619	23,014	23,045		
	決算額	23,164	22,060			
財源	国県支出金	14,280	12,735	13,267	18,720	25,106
	地方債・その他	0	0	0	0	0
	一般財源	10,339	10,279	9,778	13,694	14,772

3. 評価指標・課題等						
※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値						
指標名称	登記完了面積 (km <sup>2</sup> )					指標の計算式等
目標及び実績値等	令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	前年度までの登記完了面積 (km <sup>2</sup> ) + 当該年度登記完了面積 (km <sup>2</sup> )
実績値	8.67	8.67	9.17	9.57	11.09	
目標達成率				86.3		
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等					
	B) Aにおける対応策					
	C) 新たな課題等 公共事業と関連づかない地籍調査については負担金の配分を受けられなくなる可能性がある。					

4. 1次評価		
※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。		
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難 ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている
総合評価	継続実施	

5. 2次評価						
事業区分 <input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望						
委員会判定			市長判定			
必要性	A		必要性	A		
有効性	A		有効性	A		
効率性	B		効率性	B		
総合評価	継続実施			総合評価	継続実施	

6. 評価結果		
総合評価	継続実施	※市民評価実績 平成27年度
備考		

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		都市計画総務事務費				部名	建設水道部		グループ名	都市計画グループ	
						課名	都市計画課				
総合計画	施策大綱(目標)	5	快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	快適に住み続けられる住環境づくり				款	8	土木費	事業開始年度	平成18年度
	施策	3	土地利用の推進				項	4	都市計画費	事業終了年度	
	主な事業				目		1	都市計画総務費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 5193		都市計画法、景観法、歴史まちづくり法		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量なし(一部あり)	総合戦略	②	(ア)②						
2. 事業内容											
事業目的		都市計画法に基づき、都市計画に関する重要事項の調査審議及び各種計画の推進と施策展開の検討を行うため、都市計画審議会を開催する。 景観行政を推進するため、景観審議会を開催する。 歴史的風致の維持向上を推進するため、歴史的風致維持向上協議会を開催する。 各種補助制度による良好な都市環境の実現と市内永住の促進を目指す。									
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画の審議及び各種計画の進捗管理のため都市計画審議会を開催</li> <li>景観に関する重要事項を審議する景観審議会を開催</li> <li>歴史的風致維持向上計画を推進するため、歴史的風致維持向上協議会を開催</li> <li>民間住宅の耐震化を促進させる木造住宅の耐震診断及び改修や建替え補助</li> <li>緑豊かな住環境の実現に寄与するための生垣奨励補助</li> <li>土地区画整理事業の保留地処分推進と永住促進のための保留地等購入支援補助</li> </ul>									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		都市計画審議会5回、生垣奨励補助5件、耐震診断5件、耐震改修1件、耐震建替4件、保留地等購入支援補助8件、都市計画基礎調査業務委託	都市計画審議会3回、景観審議会1回、歴風向上協議会1回、生垣奨励補助5件、耐震診断5件、耐震改修等5件、ブロック塀撤去3件、保留地等購入支援補助14件	都計審3回、景観審3回、歴風協議会1回、生垣4件、耐震診断5件、耐震改修等7件、ブロック塀撤去5件、保留地購入補助12件、都市核等事業化検討業務	都計審3回、景観審2回、歴風協会1回、生垣4件、耐震診断5件、耐震改修等7件、ブロック塀撤去5件、保留地購入補助8件、都市核等事業化検討、都市マス策定、立適改訂	都計審3回、景観審2回、歴風協議会1回、生垣4件、耐震診断5件、耐震改修等7件、ブロック塀撤去5件、保留地購入補助8件、都市核等事業化検討業務、都市マス策定業務					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	24,475	14,632	44,426	50,662	48,792					
	予算現額	28,623	46,379	44,577							
	決算額	27,289	21,779								
財源	国県支出金	4,631	5,041	6,961	6,145	6,145					
	地方債・その他	102	222	133	102	102					
	一般財源	23,890	41,116	37,483	44,415	42,545					
3. 評価指標・課題等											
※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		①生垣奨励金補助件数、②木造住宅耐震診断・改修補助件数、③保留地等購入支援補助件				指標の計算式等					
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	実施件数/①5件、②4件、③5件 まち・ひと・しごと 創生総合戦略② 住環境の整備より				
実績値		①(目標5)②(目標4)③(目標5)		①5件、②4件、③5件		①20%②100%③100%		①50%②58%③87%		①5件、②4件、③5件	
目標達成率		①80%②100%③100%									
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	都市計画マスタープラン等、所管する各種計画について、PDCAサイクルによる適切な進捗管理が必要となる。									
	B) Aにおける対応策	まちづくりの推進を図るため、都市計画マスタープラン等に係る事務の協議及び調整を行う庁内組織として、下野市まちづくり連絡調整会議設置し、各種計画等の進捗管理を行った。									
	C) 新たな課題等	上位計画の総合計画策定期と第2次都市計画マスタープラン策定期が重なることから、関係各課との綿密な調整が必要となる。									
4. 1次評価											
※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定						市長判定					
必要性	A					必要性	A				
有効性	A					有効性	A				
効率性	B					効率性	B				
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果											
総合評価		継続実施				※市民評価実績					
						平成29年度					
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		土地区画整理総務事務費				部名	建設水道部		グループ名	庶務補償グループ	
						課名	区画整理課				
総合計画	施策大綱(目標)	5	快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	快適に住み続けられる住環境づくり				款	8	土木費	事業開始年度	平成18年度
	施策	3	土地利用の推進				項	4	都市計画費	事業終了年度	
	主な事業	土地区画整理事業の推進(仁良川地区・石橋駅周辺地区)					目	2	土地区画整理費	関係法令等	
重点事業区分	2 街いきいきプロジェクト				経費区分	経常枠内経費 5270		土地区画整理法、都市計画法			
事業の種類	ソフト事業	類型区分	II			補助団体					
裁量の有無	裁量あり	総合戦略	②	(ア)①							
2. 事業内容											
事業目的		土地区画整理事業の推進 区画整理事業関係団体に加入し、各種情報の提供、支援を相互に行う。 区画整理事業を円滑に実施するため、研究会や各種研修会に参加する。									
事業概要		区画整理事業実務に必要な知識の習得と技術力の向上を図るため、各種セミナーや研修等に参加する。 区画整理事業に係る協議会等負担金。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	旅費 34,000円 負担金 218,000円	旅費 23,000円 負担金 167,000円	旅費 23,000円 負担金 167,000円	負担金 231,000円	負担金 231,000円						
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	281		240		209		231		231	
	予算現額	240		209		223					
	決算額	189		193							
財源	国県支出金	0		0		0		0		0	
	地方債・その他	0		0		0		0		0	
	一般財源	240		209		223		231		231	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称								指標の計算式等			
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率		-									
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	事業内容の理解や知識を身に付けるためには、時間と経験が必要であることから、職員異動に伴う事業進捗への影響を軽減する手段について検討が必要である。									
	B) Aにおける対応策	スキルアップを図るため受講する研修項目を増やした。									
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	見直し実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	B				必要性	B					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	見直し実施				見直し実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	見直し実施										
備考	-										

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		石橋駅周辺土地区画整理事業				部名	建設水道部		グループ名	庶務補償、工務グループ	
						課名	区画整理課				
総合計画	施策大綱(目標)	5	快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり			予算科目	会計名	石橋駅周辺土地区画整理事業特別会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	快適に住み続けられる住環境づくり				款	1	土地区画整理事業費	事業開始年度	平成18年度
	施策	3	土地利用の推進				項	1	土地区画整理事業費	事業終了年度	令和7年度
	主な事業	土地区画整理事業の推進(仁良川地区・石橋駅周辺地区)					目	1	土地区画整理事業費	関係法令等	
重点事業区分	2 街いきいきプロジェクト				経費区分	経常枠内経費 9614		土地区画整合法都市計画法			
事業の種類	ハード事業	類型区分	II			補助団体					
裁量の有無	裁量あり	総合戦略	②	(ア)①							
2. 事業内容											
事業目的		石橋駅周辺土地区画整理事業の推進 JR東口が開設されたことにより、当地区の土地区画整理事業を実施し、都市計画道路や区画道路の整備を図るとともに、公園等の公共施設の整備改善及び宅地の利用増進を進めることにより、健全で良好な市街地を形成するものである。									
事業概要		移転難航者との合意形成を図るための施策を講じ、事業実施計画に沿って速やかな事業完了を目指す。 地区面積：5.5ha 総事業費：9億7,500万円 施行期間：昭和63年度～令和7年度 進捗状況：事業費ベース89.0% (R3年度末)									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		委託料、補償費他 13,340,000円	委託料、補償費他 40,000,000円	委託料、補償費、工事費等 25,000,000円	委託料、工事費等 37,400,000円	委託料、工事費等 17,711,000円					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	9,544	40,000	25,000	37,400	17,711					
	予算現額	8,840	3,208	134,438							
	決算額	6,005	1,285								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	8,839	3,207	134,437	37,399	17,710					
	一般財源	1	1	1	1	1					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		地区内人口密度				指標の計算式等					
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	地区内人口/ha				
実績値						60					
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	地権者との合意形成が図れなかった場合には直接施行の実施もあり得るため、現段階から並行して直接施行の準備を進める必要があるが、事務量が飛躍的に増加する。									
	B) Aにおける対応策	長年交渉が難航していた地権者1名と合意が図れたので残り2件の地権者との合意形成を図っていく。									
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	C	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	見直し実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	C				効率性	C					
総合評価	見直し実施				見直し実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	見直し実施				令和4年度						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		開発行為許可事務費			部名	建設水道部		グループ名	開発指導グループ		
					課名	都市計画課					
総合計画	施策大綱(目標)	5	快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり		予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続	
	基本施策	1	快適に住み続けられる住環境づくり			款	8	土木費		事業開始年度	令和3年度
	施策	3	土地利用の推進			項	4	都市計画費		事業終了年度	
	主な事業					目	1	都市計画総務費		関係法令等	
重点事業区分					経費区分	経常枠内経費		17232	都市計画法		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量なし	総合戦略	②	(ア)①						
2. 事業内容											
事業目的		都市計画法における開発許可制度の適正な運用により都市のスプロール化を防止し、法の目的である「都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、もって国土の均衡ある発展と公共の福祉の増進に寄与すること」の実現のため必要な事務処理を行う。									
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>開発許可制度に係る相談受付</li> <li>開発許可制度に係る許認可事務</li> <li>市が行う開発行為及び建築行為に係る相談対応</li> <li>開発行為により整備された公共施設の帰属事務</li> <li>栃木県開発審査会への議案付議及び許可件数の報告</li> <li>栃木県開発許可連絡協議会への参加による県内11の事務処理市との連携、調整</li> </ul>									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		<ul style="list-style-type: none"> <li>相談受付</li> <li>許認可事務</li> <li>公共施設帰属事務</li> <li>開発審査会議案付議</li> <li>連絡協議会参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談受付</li> <li>許認可事務</li> <li>公共施設帰属事務</li> <li>開発審査会議案付議</li> <li>連絡協議会参加</li> <li>開発緩和地区の区域指定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談受付</li> <li>許認可事務</li> <li>公共施設帰属事務</li> <li>開発審査会議案付議</li> <li>連絡協議会参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談受付</li> <li>許認可事務</li> <li>公共施設帰属事務</li> <li>開発審査会議案付議</li> <li>連絡協議会参加</li> <li>開発緩和地区の運用の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談受付</li> <li>許認可事務</li> <li>公共施設帰属事務</li> <li>開発審査会議案付議</li> <li>連絡協議会参加</li> </ul>					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	206	5,284	268	1,194	194					
	予算現額	284	5,264	196							
	決算額	200	4,917								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	284	1,679	196	1,194	194					
	一般財源	0	3,585	0	0	0					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	昨年度、開発許可権限移譲に伴う継続した事務運営基盤の確立のため、事務マニュアル等を作成した。今後は、都市計画法や関連法令の理解・運用のため職員のスキルアップを図っていく。									
	B) A)における対応策	事務マニュアル等は、適宜、加除・修正をしながら改良している。また、業務の中で発生する各案件については、グループ内、課内で確認しあい個々の対応能力の向上を図った。									
	C) 新たな課題等	開発許可事務は非常に複雑であるため、職員の開発許可事務への対応力の維持向上に努めていく必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input checked="" type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		仁良川地区土地区画整理事業				部名	建設水道部		グループ名	庶務補償、工務グループ	
						課名	区画整理課				
総合計画	施策大綱(目標)	5	快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり			予算科目	会計名	仁良川地区土地区画整理事業特別会計		新規・継続	継続
	基本施策	1	快適に住み続けられる住環境づくり				款	1	土地区画整理事業費	事業開始年度	平成18年度
	施策	3	土地利用の推進				項	1	土地区画整理事業費	事業終了年度	令和10年度
	主な事業	土地区画整理事業の推進(仁良川地区・石橋駅周辺地区)					目	1	土地区画整理事業費	関係法令等	
重点事業区分	2 街いきいきプロジェクト				経費区分	経常枠内経費 9664		土地区画整理法都市計画法			
事業の種類	ハード事業	類型区分	II			補助団体					
裁量の有無	裁量あり	総合戦略	②	(ア)①							
2. 事業内容											
事業目的		仁良川地区土地区画整理事業の推進 土地区画整理事業により総合的な面的整備を行い、公共施設の整備や改善、良好な宅地の供給を図ることにより、居住環境の向上を目指す。									
事業概要		社会資本整備総合交付金の補助対象路線を優先整備し、その用地を確保するための物件移転補償を行う。 地区面積：91.4ha 施行期間：平成7年度～令和10年度（補助事業令和8年度まで） 進捗状況：事業費ベース83.4%（R4年度末）									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度						
	573,546,000円 建物調査算定業務、街区確定測量業務、道路築造舗装工事、宅地造成工事 上下水道負担金、物件補償費など	588,936,000円 建物調査算定業務、街区確定測量業務、道路築造舗装工事、宅地造成工事 上下水道負担金、物件補償費など	260,794,000円 建物調査算定業務、街区確定測量業務、道路築造舗装工事、宅地造成工事 上下水道負担金、物件補償費など	350,221,000円 建物調査算定業務、街区確定測量業務、道路築造舗装工事、宅地造成工事 上下水道負担金、物件補償費など	550,000,000円 建物調査算定業務、街区確定測量業務、道路築造舗装工事、宅地造成工事 上下水道負担金、物件補償費など						
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	573,546	588,936	260,794	350,221	550,000					
	予算現額	465,646	384,356	393,685							
	決算額	366,029	250,621								
財源	国県支出金	42,888	20,386	26,474	61,798	61,798					
	地方債・その他	422,755	363,968	367,209	288,421	488,200					
	一般財源	3	2	2	2	2					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		整備面積 (ha)				指標の計算式等					
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	施行計画面積 (91.4ha) × 事業費ベース進捗率				
実績値						91.4					
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	現在、事業延伸の手続きを進めているが、事業の長期化に伴い財源確保が難しくなっている。									
	B) Aにおける対応策	事業計画の変更により国費補助金の補助期間の延長及び増額と合わせて、保留地販売の促進を行い財政確保を図る。									
	C) 新たな課題等	都市計画道路3・4・4号線の道路整備が西坪山工業団地交差点を中心に本格的に開始したが、大半が未整備である。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		小金井駅周辺地区公共用地利活用事業				部名	総合政策部	グループ名	政策推進グループ		
						課名	総合政策課				
総合計画	施策大綱(目標)	5	快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	新規
	基本施策	1	快適に住み続けられる住環境づくり				款	2	総務費	事業開始年度	令和6年度
	施策	3	土地利用の推進				項	1	総務管理費	事業終了年度	令和7年度
	主な事業	総合的かつ計画的な土地利用の推進					目	7	企画費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	投資的経費		19365		
事業の種類		ハード事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	①	「魅力的						
2. 事業内容											
事業目的		本市のまちづくりの指針となる都市計画マスタープランや立地適正化計画、都市再構築プランなどに基づきコンパクトな都市構造を実現し、効果的・効率的な都市経営を目指すため、小金井駅周辺の人口密度の維持、多様な生活サービスが提供可能な拠点形成を図ることで、賑わいと活力を生み出し、将来の変化に対応したまちづくりを確立する。									
事業概要		小金井駅東口地区、小金井駅西口地区を一体的にとらえ、小金井駅周辺地区として、まちづくり、公共施設等のあり方の検討を行う。 ・令和4年度 基本方針の策定 ・令和5年度 関係機関協議、庁内検討 ・令和6年度 基本計画、都市再生整備計画事前協議 ・令和7年度 基本計画、都市再生整備計画 ・令和8年度 事業着手									
事業計画(基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	・関係機関協議、庁内検討 ・基本計画策定委員会・都市再生整備計画事前協議・市民懇談会など		・関係機関協議、庁内検討 ・基本計画策定委員会・都市再生整備計画策定・市民懇談会など		
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	0	0	0	7,780	11,520					
	予算現額	0	0	0							
	決算額	0	0								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	0	0	0	7,780	11,520					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等										
	B) Aにおける対応策										
	C) 新たな課題等	小金井駅西口地区については、地元自治会等との事業進捗を踏まえ、具体的な方向性が定まった時点で、対象事業、対象区域などを設定し基本方針に追加し検討する。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 2次評価基準による <input checked="" type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施										
6. 評価結果					※市民評価実績						
総合評価	継続実施										
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		通学路安全施設整備事業				部名	建設水道部		グループ名	保全グループ	
						課名	建設課				
総合計画	施策大綱(目標)	5	快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	人に優しい交通環境づくり				款	8	土木費	事業開始年度	平成28年度
	施策	1	幹線道路の整備				項	2	道路橋梁費	事業終了年度	
	主な事業				目		1	道路維持費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	投資的経費		9911	特になし	
事業の種類		ハード事業	類型区分	I		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	②	(ア)③						
2. 事業内容											
事業目的		教育委員会の通学路安全推進会議と連携し、小中学校における通学路の安全確保を図るため、路肩のカラー化（グリーンベルト）や外側線の設置等により児童や生徒の安全を確保する。									
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>区画線設置（グリーンベルト、外側線）</li> <li>横断歩道へのポラード（車止め）設置</li> </ul>									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		事業費 8,000千円 区画線設置工事 ・グリーンベルト ・側線 ガードパイプ設置工事	事業費 8,000千円 区画線設置工事 ・グリーンベルト ・側線 ガードパイプ設置工事	区画線設置（グリーンベルト、外側線） ポラード（車止め）設置	区画線設置（グリーンベルト、外側線） ポラード（車止め）設置	区画線設置（グリーンベルト、外側線） ポラード（車止め）設置					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	8,000	8,000	4,906	9,009	9,009					
	予算現額	5,231	4,585	3,800							
	決算額	5,203	3,571								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	5,231	4,585	3,800	9,009	9,009					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	小中学校からの通学道路の安全確保に対する要望は、件数がとても多く、内容も多岐に渡る。									
	B) Aにおける対応策	通学路安全推進会議において、教育委員会、交通管理者及び道路管理者が合同点検を行い、優先的に対策を行うべき箇所や効果的な対策の内容を決定している。									
	C) 新たな課題等	朝夕の車両の通行量が多いことから、歩道が整備された道路を通学路として利用していないケースが多い。通学路の指定に関しても、通学路安全推進会議により関係機関との協議が必要である。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	B	<b>ソフト事業</b> <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				<b>ハード事業</b> <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input checked="" type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施										
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		市道1-3号線他整備事業				部名	建設水道部		グループ名	整備・SICグループ	
						課名	建設課				
総合計画	施策大綱(目標)	5	快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	人に優しい交通環境づくり				款	8	土木費	事業開始年度	平成19年度
	施策	1	幹線道路の整備				項	2	道路橋梁費	事業終了年度	令和11年度
	主な事業				目		2	道路橋梁新設改良費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	投資的経費 5036		道路法		
事業の種類		ハード事業	類型区分	I		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	②	(ア)③						
2. 事業内容											
事業目的		一般県道下野壬生線から主要地方道栃木二宮線までの本路線を整備することにより、本市の基幹的道路網が整備され、新市の一体性の確立を図る。 【小金井地内 JAライスセンター東側】									
事業概要		事業期間 H26～R11年度 社会資本整備総合交付金 道路改良事業 整備延長 L=2,100m、整備幅員 w=12.0m ◇第1工区 ～R8 (栃木二宮線～JAライスセンター) L=900m ◇第2工区 R7～R11 L=1,200m									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	用地買収 土地改良区協議		道路改良 時点修正 100千円 用地 15,000千円 補償 3,600千円 工事 7,546千円 排水工事 設計修正 808千円 工事 48,356千円		用地買収 道路改良工事(第1工区)		道路改良工事(第1工区)		道路改良工事(第1工区) 道路詳細設計(第2工区)		
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	17,685		82,456		64,000		70,000		98,000	
	予算現額	20,008		75,410		57,907					
	決算額	8,558		760							
財源	国県支出金	7,500		17,000		5,000		30,000		45,000	
	地方債・その他	11,700		58,300		52,500		27,000		40,500	
	一般財源	808		110		407		13,000		12,500	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		事業費における進捗率					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	当該年度までの累計事業費/総事業費				
実績値		排水測量・設計1,330千円	25%		排水路詳細設計用地買収	50%					
目標達成率		22%		25%	33%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	第1工区の完了と、第2工区の事業着手に向けた調整を要する。									
	B) Aにおける対応策	第1工区の整備促進と第2工区の整備に向けた地元調整を進める。									
	C) 新たな課題等	第1工区の県道交差点改良に伴い信号機移設があるため、早期に警察と協議が必要。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				<input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難		ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input checked="" type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている			
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による		<input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による		<input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる		<input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望			
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		市道2-7号線他整備事業				部名	建設水道部		グループ名	整備・SICグループ	
						課名	建設課				
総合計画	施策大綱(目標)	5	快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり			予算科目	会計名 一般会計		新規・継続	継続	
	基本施策	2	人に優しい交通環境づくり				款	8	土木費	事業開始年度	平成25年度
	施策	1	幹線道路の整備				項	2	道路橋梁費	事業終了年度	令和8年度
	主な事業				目		2	道路橋梁新設改良費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	投資的経費 4951		道路法		
事業の種類		ハード事業	類型区分	I		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	②	(ア)③						
2. 事業内容											
事業目的		石橋総合病院の移転にあたり取り交わされた基本合意書に基づき、病院周辺道路を整備する。メイン道路(都)3・4・808号北城通りは、平成26年8月に都市計画変更が告示された。【石橋地内】									
事業概要		事業期間 H25～R8 社会資本整備総合交付金事業 I. 市道2-7号線：整備延長 L=1190m、整備幅員 W=16.0m、 ①都市再生整備計画事業区間(病院西～南300m)、②北工区(病院西～北550m) II. 石橋総合病院周辺 バリアフリー工事(都市再生整備計画事業) ①南側(市道2190号線 L=150m)、②北側(市道2085号線 L=450m) III. 東西アクセス道路 整備延長 L=500m									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		I. 市道2-7号線 ②用地補償	I. 市道2-7号線 ②用地補償	I. 市道2-7号線 ②用地補償・排水管 整備工事	I. 市道2-7号線 ②用地補償・補償調査	I. 市道2-7号線 ②用地補償					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	41,900	47,438	59,236	108,250	156,000					
	予算現額	43,657	58,386	61,134							
	決算額	308	45,247								
財源	国県支出金	20,000	22,000	0	50,000	75,000					
	地方債・その他	23,000	35,800	61,000	45,000	67,500					
	一般財源	657	586	134	13,250	13,500					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		事業費における進捗率(①都市再生事業区間)				指標の計算式等					
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	当該年度までの累計事業費/総事業費				
実績値		用地買収	50%	補償再算定	用地買収	80%					
目標達成率		36%		36%	36%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	引き続き用地の取得を目指す。									
	B) A)における対応策	道路事業の必要性を丁寧に説明し協力してもらえるように努力する。									
	C) 新たな課題等	事業期間が長期化しているため、早期供用できるように整備を促進しなければならない。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input checked="" type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による		<input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による		<input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる		<input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望			
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		一般市道整備事業				部名	建設水道部		グループ名	整備・SICグループ	
						課名	建設課				
総合計画	施策大綱(目標)	5	快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	人に優しい交通環境づくり				款	8	土木費	事業開始年度	平成22年度
	施策	1	幹線道路の整備				項	2	道路橋梁費	事業終了年度	
	主な事業						目	2	道路橋梁新設改良費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	投資的経費 5004		道路法		
事業の種類		ハード事業	類型区分	I		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	②	(ア)③						
2. 事業内容											
事業目的		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元要望による生活道路の整備</li> <li>・一つの事業箇所として「事業化」しなくても、単年度で完成してしまう程度の新設改良事業</li> <li>・小規模な新設改良や維持修繕等に伴う附帯工事及び用地買収等</li> </ul>									
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>・請願や陳情などの要望により、整備が望まれる路線が多々あり、生活道路整備検討委員会により「整備」と位置付けられた路線の調査及び設計</li> <li>・用地買収済みで、維持管理が必要な路線の安全管理に伴う小規模工事等</li> </ul>									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		市道2421号線測量業務及び市道9151号線小規模工事などC=3,021千円	市道4131号線、5042号線の事業化に向けた測量業務などC=5,196千円	市道4048号線の事業化に向けた測量業務C=2,673千円、小規模工事などC=2,500千円	生活道路整備検討委員会にて整備決定された路線の測量業務小規模工事	生活道路整備検討委員会にて整備決定された路線の測量業務小規模工事					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	11,410	6,000	5,173	5,500	5,500					
	予算現額	3,683	5,196	4,184							
	決算額	3,021	5,022								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	5,000	0	0	0					
	一般財源	3,683	196	4,184	5,500	5,500					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		特になし					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	限られた予算で整備事業を実施しているため、1路線の整備期間が長期化しており、整備すべき路線が蓄積され続けている。									
	B) Aにおける対応策	現在整備中の路線について早期完了に向け事業を促進させる。									
	C) 新たな課題等	新規事業については、真に必要な路線を見極め整備を進める必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input checked="" type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	見直し実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	B				必要性	B					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	見直し実施				総合評価	見直し実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	見直し実施										
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		自治医大駅周辺整備事業				部名	建設水道部	グループ名	整備・SICグループ		
						課名	建設課				
総合計画	施策大綱(目標)	5	快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	人に優しい交通環境づくり				款	8	土木費	事業開始年度	平成28年度
	施策	1	幹線道路の整備				項	2	道路橋梁費	事業終了年度	令和5年度
	主な事業				目		2	道路橋梁新設改良費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	投資的経費		10168	道路法、高齢者・障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー新法)、安全で快適な自転車利用環境創出がト	
事業の種類		ハード事業	類型区分	I		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	②	(ア)③						
2. 事業内容											
事業目的		下野市交通バリアフリー特定事業計画に基づき、自治医大駅東口広場及び市道7002号線他2路線のバリアフリー工事を実施する。歩道と車道の段差を解消し、併せて視覚障害者用誘導ブロックを設置する。歩道については、現況の陶板ブロックが滑りやすく危険であることと大部分で破損しているため、透水性ブロックなどに改良する。 【医大前・祇園 JR自治医大駅東口】									
事業概要		事業期間：平成28年度～令和5年度 ①7002号線：L=380m W=12.0m、②7020号線：L=140m W=6.0m ③7036号線：L=85m W=6.0m、④7024号線：L=36m W=7.8～9.8m ⑤7050号線：L=58m W=4.0～6.0m、⑥駅東口広場：整備面積 A=4,000㎡ 平成28～29年度 調査・測量・設計・計画協議、令和元～5年度 バリアフリー工事									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		高質空間建設施設設計委託 1,000千円 ①、③、⑥工事 C=189,000千円	④、⑤、⑥工事 C=16,777千円 東口トイレ工事 C=40,000千円 西口トイレ設計C=5,000千円 情報板C=5,000千円	西口トイレ C=33,000千円 西口駐輪場 C=20,000千円							
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	211,500	84,977	58,000	0	0					
	予算現額	278,300	88,184	48,461							
	決算額	136,007	46,470								
財源	国県支出金	103,400	34,100	22,500	0	0					
	地方債・その他	174,600	53,600	25,200	0	0					
	一般財源	300	484	761	0	0					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		事業費における進捗率					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	当該年度までの累積事業費/総事業費				
実績値											
目標達成率		44%	46%	74.7%		100%					
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	最終年度の事後評価に向けて、関係機関と調整する。									
	B) Aにおける対応策										
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input checked="" type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		小金井西通り道路整備事業				部名	建設水道部		グループ名	整備・SICグループ	
						課名	建設課				
総合計画	施策大綱(目標)	5	快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	人に優しい交通環境づくり				款	8	土木費	事業開始年度	平成22年度
	施策	1	幹線道路の整備				項	2	道路橋梁費	事業終了年度	令和9年度
	主な事業	1、2級幹線道路の拡幅改良			目		2	道路橋梁新設改良費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	投資的経費 5048		道路法		
事業の種類		ハード事業	類型区分	I		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	②	(ア)③						
2. 事業内容											
事業目的		下野市と小山市の中心市街地を結ぶ主要幹線道路である国道4号の慢性的な渋滞解消と市民の利便性向上を図る。小山市側の道路改良に合わせ実施することにより、下野市北部から小山市中心市街地への国道4号と並行するバイパス路線となる。 (下野・小山間道路整備促進協議会要望路線)									
事業概要		市道1-13号線から小山市境までの道路整備 整備延長 L=170m、整備幅員 W=16.0m、全体事業費 73,500千円									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		要望活動	要望活動	要望活動	協議調整	測量設計業務 土質調査業務 土地評価業務 用地測量業務					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	0	0	0	0	11,500					
	予算現額	0	0	0							
	決算額	0	0								
財源	国県支出金	0	0	0	0	5,000					
	地方債・その他	0	0	0	0	4,500					
	一般財源	0	0	0	0	2,000					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		事業費における進捗率					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	当該年度までの累積事業費/総事業費				
実績値			0%			25%					
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	整備スケジュールは、小山市の整備進捗状況に合わせなければならない。									
	B) Aにおける対応策	小山市と協議調整を進める。									
	C) 新たな課題等	交付金事業での整備実施に向け、栃木県とも協議調整をしなければならない。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	B	<b>ソフト事業</b> <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				<b>ハード事業</b> <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input checked="" type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	見直し実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	B				必要性	B					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	見直し実施				総合評価	見直し実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	見直し実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		市道1-9号線道路整備事業				部名	建設水道部		グループ名	整備・SICグループ	
						課名	建設課				
総合計画	施策大綱(目標)	5	快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	人に優しい交通環境づくり				款	8	土木費	事業開始年度	平成29年度
	施策	1	幹線道路の整備				項	2	道路橋梁費	事業終了年度	令和10年度
	主な事業				目		2	道路橋梁新設改良費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	投資的経費		11698	道路法	
事業の種類		ハード事業	類型区分	I		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	②	(ア)③						
2. 事業内容											
事業目的		<p>下野市幹線道路網整備計画では、小山第三工業団地へ通じる整備すべき新規路線として位置づけられている。県営圃場整備事業「薬師寺・柴地区」として、下都賀農業振興事務所がH30年度から事業着手することから、土地改良事業に合わせ道路整備をする必要がある。</p> <p>併せて、遊歩道である「哲学の道」を整備する。 (下野・小山間道路整備促進協議会要望路線)</p>									
事業概要		<p>道路新設整備 市道1-9号線:整備延長 L=4.5km、整備幅員 W=12.0m 哲学の道:整備延長 L=1.7km、整備幅員 W=3.0m(歩行者専用道路) ◇第1期事業 整備延長 L=2.2km、整備幅員 W=12.0m(県道自治医大停車場線～市道1-12号線) ◇第2期事業 整備延長 L=2.3km、整備幅員 W=12.0m(市道1-2号線～小山市第三工業団地)</p>									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		詳細設計	不動産鑑定 50,000千円 土地改良区協議	発掘調査	用地買収	用地買収					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	8,000	61,700	56,000	84,000	84,000					
	予算現額	35,475	500	8,438							
	決算額	5,115	729								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	8,000	0	0					
	一般財源	35,475	500	438	84,000	84,000					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		事業費における進捗率					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	当該年度までの累計事業費/総事業費				
実績値		路線測量6,094千円	7%	不動産鑑定 5,115千円(詳細設計)31,724千円	25.8%	25.8%	53%				
目標達成率		35%									
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	県道結城石橋線と市道1-9号線の相互移管の協議を進める。									
	B) Aにおける対応策	栃木県と相互移管について協議を進める。									
	C) 新たな課題等	相互移管が整わない場合、整備を市で行うことになってしまう。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		幹線道路網整備計画策定事業				部名	建設水道部		グループ名	整備・SICグループ	
						課名	建設課				
総合計画	施策大綱(目標)	5	快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	人に優しい交通環境づくり				款	8	土木費	事業開始年度	令和2年度
	施策	1	幹線道路の整備				項	1	土木管理費	事業終了年度	令和6年度
	主な事業				目		1	土木総務費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 13238		道路法		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	I		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	②	(ア)③						
2. 事業内容											
事業目的		下野市内の広域的な交通ネットワークを踏まえた総合的な道路整備の指針となる「下野市幹線道路網整備計画」については、整備の進捗状況や社会の情勢の変化に対応できるよう概ね5年毎に見直しをしていくことになっている。平成24年度に改訂版を策定し5年以上が経過するため、再度計画の策定を実施する。									
事業概要		「下野市幹線道路網整備計画」の策定業務 対象区域：下野市全域7,458ha 対象路線：市道1級・2級・その他の道路(必要に応じて) 対象期間：平成24年～令和13年									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		都市交通マスタープランとの連携を図るための確認調査	都市交通マスタープランとの連携を図るための基礎調査	計画策定業務 7,140千円	計画公表に関する業務						
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	6,000	0	7,140	0	0					
	予算現額	0	0	3,553							
	決算額	0	0								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	0	0	3,553	0	0					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		計画策定の実績					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値			0%			100%					
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	令和5年度の単年度で計画策定しなければならないが、グループに人的余裕がないため、市道整備事業の用地買収、設計積算及び工事執行の進捗に影響がでる恐れがある。									
	B) Aにおける対応策	できる限り委託業務の中で適切な計画策定を行う。									
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		市道7126号線整備事業				部名	建設水道部		グループ名	整備・SICグループ	
						課名	建設課				
総合計画	施策大綱(目標)	5	快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	人に優しい交通環境づくり				款	8	土木費	事業開始年度	令和元年度
	施策	1	幹線道路の整備				項	2	道路橋梁費	事業終了年度	令和9年度
	主な事業				目		2	道路橋梁新設改良費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	投資的経費 14310		道路法		
事業の種類	ハード事業	類型区分	I			補助団体					
裁量の有無	裁量あり	総合戦略	②	(ア)③							
2. 事業内容											
事業目的		地元要望を受け、生活道路整備検討委員会により「整備」に位置づけられた路線であり、道路拡幅改良工事を行う。 【薬師寺1丁目地内 南北道路】									
事業概要		事業期間 令和元年度～令和7年度 整備延長 l=370m、整備幅員 w=3.3m～6.0m 令和6年度 路線測量 令和7年度 関係者説明会・詳細設計・用地測量・物件調査 令和8年度 用地買収 令和9年度 道路改良工事									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度						
				路線測量	詳細設計 用地測量・物件調査 関係者説明会						
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	0	1,436	1,436	5,000	16,500					
	予算現額	0	0	0							
	決算額	0	0								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	0	0	0	5,000	16,500					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		事業における進捗率					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	当該年度までの累計事業費/総事業費				
実績値			0%			100%					
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	生活道路の要望路線であるが、事業期間が長期化しているため、対策の検討を要する。									
	B) Aにおける対応策	早期事業完了に向け、地元との協議調整を進める。									
	C) 新たな課題等	用地買収の一括調印などの検討を要する。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	B	<b>ソフト事業</b> <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				<b>ハード事業</b> <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input checked="" type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	見直し実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	B				必要性	B					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	見直し実施				総合評価	見直し実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	見直し実施										
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		市道2420号線他1路線整備事業				部名	建設水道部		グループ名	整備・SICグループ	
						課名	建設課				
総合計画	施策大綱(目標)	5	快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	人に優しい交通環境づくり				款	8	土木費	事業開始年度	令和元年度
	施策	1	幹線道路の整備				項	2	道路橋梁費	事業終了年度	令和7年度
	主な事業				目		2	道路橋梁新設改良費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	投資的経費 14335		道路法		
事業の種類	ハード事業	類型区分	I			補助団体					
裁量の有無	裁量あり	総合戦略	②	(ア)③							
2. 事業内容											
事業目的		地元要望による生活道路の整備であり、生活道路整備検討委員会により採択された路線。境界の問題により中断していたが、問題が解消されたため、事業を再開する。 【下石橋地内 下石橋公民館周辺】									
事業概要		整備延長 L=810m (2418号線:400m、2420号線:410m) 幅員 W=4.0~6.0m 全体事業費 C=100,000千円 【社会資本整備総合交付金 (栃木県住環境整備計画 (第三期) 狭あい道路整備促進事業) 対象事業】									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	用地買収		用地買収 道路拡幅改良工事		用地買収 道路拡幅改良工事		道路拡幅改良工事				
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	9,798		8,230		32,900		55,000		0	
	予算現額	3,750		25,480		24,680					
	決算額	4,081		8,741							
財源	国県支出金	1,600		12,740		5,240		25,000		0	
	地方債・その他	1,400		11,400		18,700		22,500		0	
	一般財源	750		1,340		740		7,500		0	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		事業費における進捗率					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	当該年度までの累計事業費/総事業費				
実績値						100%					
目標達成率		16.6%	16%	20.7%	16.4%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	請負業者や地元との調整を行い、年度内の工事を完了させる。									
	B) Aにおける対応策	早期完了に向け調整を進める。									
	C) 新たな課題等	令和6年度完了のため関係者との協議調整を行う。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				<input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難		ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input checked="" type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている			
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施										
6. 評価結果					※市民評価実績						
総合評価	継続実施										
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		用地取得・物件補償管理システム導入事業				部名	建設水道部		グループ名	整備・SICグループ	
						課名	建設課				
総合計画	施策大綱(目標)	5	快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	人に優しい交通環境づくり				款	8	土木費	事業開始年度	令和2年度
	施策	1	幹線道路の整備				項	1	土木管理費	事業終了年度	
	主な事業						目	1	土木総務費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		15875		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	I		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	②	(ア)「						
2. 事業内容											
事業目的		道路や施設等の建設事業における用地取得業務についてデータベース化し、システム管理で一元化することにより、初心者でも様々な様式の文書(契約書・登記関係書類・税務署協議書等)を画一的に作成することができ、取得状況、交渉記録等の管理・集計も容易にできるため、用地取得業務の事務効率の向上につながる。									
事業概要		用地取得・物件補償管理システムの導入									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		用地取得・物件補償管理システムの比較検討	用地取得・物件補償管理システムの比較検討	用地取得・物件補償管理システムの比較検討	用地取得・物件補償管理システムの比較検討	用地取得・物件補償管理システムの導入					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	5,000	5,000	0	0	5,000					
	予算現額	0	0	0							
	決算額	0	0								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	0	0	0	0	5,000					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値		0%		0%							
目標達成率		0%									
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	システム導入の採択について、総合政策課・財政課との検討を要する。									
	B) Aにおける対応策	協議調整を進める。									
	C) 新たな課題等	今後、用地買収も減っていくため、真に必要な物が検討する必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	見直し実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	B				必要性	B					
有効性	B				有効性	B					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	見直し実施				総合評価	見直し実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	見直し実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		下野薬師寺いにしへの道整備事業				部名	建設水道部		グループ名	整備・SICグループ	
						課名	建設課				
総合計画	施策大綱(目標)	5	快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり			予算科目	会計名			新規・継続	継続
	基本施策	2	人に優しい交通環境づくり				款			事業開始年度	令和2年度
	施策	1	幹線道路の整備				項			事業終了年度	令和8年度
	主な事業						目			関係法令等	
重点事業区分						経費区分	投資的経費		道路法		
事業の種類		ハード事業	類型区分	I		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	②	(ア)③						
2. 事業内容											
事業目的		重点区域の核となる重要文化財である下野薬師寺跡周辺に所在する下野薬師寺歴史館、薬師寺、薬師寺八幡宮、龍興寺を結ぶルートである市道4101号線、4100号線、4131号線、及び7009号線において、安全な通行幅員の確保による周遊空間の創出、及び歴史的情緒が体感できるように道路の美装化を行う。【歴史的風致維持向上計画】									
事業概要		事業期間 R2～R8 整備延長 L=750m 幅員 W=2.5～6.0m 道路改良事業 R2年度 事業手法の検討 R3年度 事業手法の検討 R4年度 計画の策定 R5年度 現況測量、路線測量 R6年度 詳細設計、用地測量 R7年度 道路改良工事、舗装工事									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		事業手法の検討		計画の策定		現況測量、路線測量		詳細設計		道路改良工事、舗装工事	
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	8,393		0		7,205		10,000		120,000	
	予算現額	0		0		7,205					
	決算額	0		0							
財源	国県支出金	0		0		3,602		4,648		54,250	
	地方債・その他	0		0		3,200		4,100		48,800	
	一般財源	0		0		403		1,252		16,950	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		事業における進捗率					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	当該年度までの累計事業費/総事業費				
実績値						80%					
目標達成率		0%		0%		80%					
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	関係各課や地元との調整のうえ、計画策定を完了させる。									
	B) Aにおける対応策	令和4年度末で計画策定は完了済み。									
	C) 新たな課題等	栃木県無電柱化推進協議会ワーキンググループにおいて電線地中化の協議が不同意となったため、今後の対応を検討する必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による		<input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による		<input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる		<input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望			
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				令和4年度						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		市道2043号線他1路線整備事業				部名	建設水道部		グループ名	整備・SICグループ	
						課名	建設課				
総合計画	施策大綱(目標)	5	快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	人に優しい交通環境づくり				款	8	土木費	事業開始年度	令和3年度
	施策	1	幹線道路の整備				項	2	道路橋梁費	事業終了年度	令和9年度
	主な事業				目		2	道路橋梁新設改良費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	投資的経費		17252	道路法	
事業の種類		ハード事業	類型区分	I		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	②	(ア)③						
2. 事業内容											
事業目的		当該路線は、道路線形が悪く幅員狭小であるため、地域住民の利用に不便な道路となっており、道路拡幅の要望を受けている。 本事業は、生活道路整備検討委員会で整備路線と位置付けられたため、道路改良工事を実施し、地域住民の利便性の向上を図る。 【下古山地内・グリムの館西側、古山小学校北側】									
事業概要		事業期間 市道2043号線 R1～R8 整備延長 L=310m 市道2079号線 R5～R9 整備延長 L=420m 整備幅員 W=5.0～6.0m R1年度 現況測量 (一般市道整備事業) R2年度 路線測量 (一般市道整備事業) R3年度 説明会 R4年度 用地測量 詳細設計									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		地元説明会	市道2043号線 用地測量 詳細設計	市道2043号線 詳細設計 物件補償調査 市道2079号線 詳細設計 用地測量	市道2043号線 用地買収 市道2079号線 物件補償調査 用地買収	市道2043号線 改良舗装 市道2079号線 改良舗装					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	6,000	8,100	59,900	33,600	60,000					
	予算現額	0	9,361	20,119							
	決算額	0	8,316								
財源	国県支出金	0	0	0	13,000	27,500					
	地方債・その他	0	9,000	20,000	11,700	24,750					
	一般財源	0	361	119	8,900	7,750					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		事業費における進捗率				指標の計算式等					
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	当該年度までの累計事業費/総事業費				
実績値			0%		用地測量	60%					
目標達成率				10%	3.9%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	市単独事業費が高くなるため、市街地再開発関連事業(社会資本整備総合交付金)の活用を検討する。									
	B) Aにおける対応策	狭あい道路整備等促進事業(国費率55%)を活用し整備を促進する。									
	C) 新たな課題等	現在、令和5年度末で交付期間が満了となる。延伸の可能性もあるが、延伸されない場合、市単独事業費が増額となる。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input checked="" type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		市道4131号線整備事業				部名	建設水道部		グループ名	整備・SICグループ	
						課名	建設課				
総合計画	施策大綱(目標)	5	快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	人に優しい交通環境づくり				款	8	土木費	事業開始年度	令和5年度
	施策	1	幹線道路の整備				項	2	道路橋梁費	事業終了年度	令和9年度
	主な事業				目		2	道路橋梁新設改良費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	投資的経費 19124		道路法		
事業の種類		ハード事業	類型区分	I		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	②	(ア)③						
2. 事業内容											
事業目的		当該路線は幅員狭小であるため、地域住民の利用に不便な道路となっており、道路拡幅の要望を受けている。本事業は、生活道路整備検討委員会で整備路線と位置付けられたため、道路改良工事を実施し、地域住民の利便性の向上を図る。 【薬師寺地内 下野市水道庁舎南河内第1配水場東側】									
事業概要		事業期間 令和5年度～令和9年度 整備延長 L=300m 整備幅員 W=6.0m									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
				事業説明会	詳細設計 用地測量	物件調査 用地買収					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	0	0	11,232	12,500	5,300					
	予算現額	0	0	0							
	決算額	0	0								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	0	0	0	12,500	5,300					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		事業費における進捗率					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	当該年度までの累積事業費/総事業費				
実績値			0%			30%					
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	生活道路の整備手法について、地元への説明が必要になる。									
	B) Aにおける対応策	令和5年度中に地元説明会を開催予定。									
	C) 新たな課題等	市単独事業費が嵩むことから、狭あい道路整備等促進事業(社会資本整備総合交付金事業)の活用も検討する。※交付金事業が令和5年度以降も継続の場合。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input checked="" type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		市道5042号線整備事業				部名	建設水道部		グループ名	整備・SICグループ	
						課名	建設課				
総合計画	施策大綱(目標)	5	快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	人に優しい交通環境づくり				款	8	土木費	事業開始年度	令和5年度
	施策	1	幹線道路の整備				項	2	道路橋梁費	事業終了年度	令和9年度
	主な事業				目		2	道路橋梁新設改良費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	投資的経費		19138	道路法	
事業の種類		ハード事業	類型区分	I		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	②	(ア)③						
2. 事業内容											
事業目的		当該路線は排水状況が悪いため、地域住民の利用に不便な道路となっており、排水整備の要望を受けている。本事業は、生活道路整備検討委員会で整備路線と位置付けられたため、排水施設整備工事を実施し、地域住民の利便性の向上を図る。 【箕輪地内 愛宕神社西側】									
事業概要		事業期間 令和5年度～令和9年度 整備延長 L=200m									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
				排水先調査 壬生町及び土地改良区 協議	詳細設計 関係者説明会	水路整備工事					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	0	0	4,895	5,000	15,000					
	予算現額	0	0	2,486							
	決算額	0	0								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	0	0	2,486	5,000	15,000					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		事業費における進捗率					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	当該年度までの累積事業費/総事業費				
実績値			0%			50%					
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	土地改良区との排水協議の完了及び地元住民の排水施設整備に関する理解を得る必要がある。									
	B) Aにおける対応策	土地改良区と壬生町との早期協議を行い、地元への説明も早期に行う。									
	C) 新たな課題等	壬生町の排水も流入することから、アロケーションなどの協議検討も必要になる。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	B	<b>ソフト事業</b> <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				<b>ハード事業</b> <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input checked="" type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	見直し実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	B				必要性	B					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	見直し実施				総合評価	見直し実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	見直し実施										
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		スマートIC整備事業				部名	建設水道部		グループ名	整備・SICグループ	
						課名	建設課				
総合計画	施策大綱(目標)	5	快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	人に優しい交通環境づくり				款	8	土木費	事業開始年度	平成30年度
	施策	2	スマートICの整備				項	2	道路橋梁費	事業終了年度	令和7年度
	主な事業	スマートIC整備の推進					目	2	道路橋梁新設改良費	関係法令等	
重点事業区分	2 街いきいきプロジェクト				経費区分	投資的経費		15159			
事業の種類	ハード事業	類型区分	I			補助団体					
裁量の有無	裁量あり	総合戦略	②	(ア)③							
2. 事業内容											
事業目的		本市の北部を通過する北関東自動車道が持つ広域的なネットワークを活用し地域の活性化や産業・物流における本市の優位性を高めるため、スマートインターチェンジの整備を行う。									
事業概要		<b>【IC形式】</b> 本線直結型、フルアクセス形式(上下線) ランプ延長: 1,910m <b>【対象車両】</b> セミトレーラ連結車 <b>【総事業費】</b> 40.6億円 (NEXCO: 24.8億円、下野市: 15.8億円) <b>【下野市負担財源内訳】</b> 国庫補助金: 6.3億円、起債: 4.5億円、一般財源: 5億円									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度			
	・用地買収 ・物件補償 ・調整池築造工事 ・道路改良工事	・道路改良工事 ・工作物補償		・道路改良工事		・道路改良工事		・舗装工事			
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	185,000	146,000	188,760	193,000	680,000					
	予算現額	236,100	123,168	198,900							
	決算額	103,591	55,209								
財源	国県支出金	57,850	53,200	69,250	99,000	363,000					
	地方債・その他	177,710	69,420	129,100	72,900	267,300					
	一般財源	540	548	550	21,100	49,700					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		事業費における進捗率					指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	当該年度までの累計事業費/総事業費				
実績値		用地取得・物件補償等C=73,471千円	23.8%	用地取得・物件補償等C=73,471千円	39.0%	道路改良・舗装等C=135,622千円	100%				
目標達成率		14.3%			43.4%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	事業期間の延伸に伴い、周辺道路の通行規制等や施工時の騒音対策について、地元住民に十分理解を得る必要がある。									
	B) Aにおける対応策	説明会を開催し周知を行った。長期間の工事となるため、都度回覧やHPでお知らせを行い周知を行う。									
	C) 新たな課題等	事業の早期完成を図るため関係機関と工程調整を進める必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input checked="" type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				平成28年度、令和元年度、令和5年度						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		土木総務事務費			部名	建設水道部		グループ名	管理グループ		
					課名	建設課					
総合計画	施策大綱(目標)	5	快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	人に優しい交通環境づくり				款	8	土木費	事業開始年度	平成18年度
	施策	3	道路施設の維持管理				項	1	土木管理費	事業終了年度	
	主な事業				目		1	土木総務費	関係法令等		
重点事業区分					経費区分	経常枠内経費		4737		・道路法・下野市道路寄付取扱要綱・下野市道路後退用地の寄附に関する補助金交付要綱	
事業の種類		ソフト事業	類型区分	I	補助団体						
裁量の有無		裁量なし(一部あり)	総合戦略	②		(ア)③					
2. 事業内容											
事業目的		道路事業及び河川事業の円滑な推進に資するため。									
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>土木費の各費目の事務費、経常経費等を一括して計上。</li> <li>未登記処理事業</li> <li>各種協議会等負担金</li> <li>道路・河川愛護会補助金</li> <li>道路後退用地寄付補助金</li> </ul>									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		旅費 需用費・委託料 使用料及び賃借料 負担金・補助金		旅費 需用費・委託料 使用料及び賃借料 負担金・補助金		旅費 需用費・委託料 使用料及び賃借料 負担金・補助金		旅費 需用費・委託料 使用料及び賃借料 負担金・補助金		旅費 需用費・委託料 使用料及び賃借料 負担金・補助金	
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	6,698		7,433		9,022		8,025		8,025	
	予算現額	6,633		12,590		7,929					
	決算額	4,462		9,128							
財源	国県支出金	0		500		500		500		500	
	地方債・その他	98		105		90		0		0	
	一般財源	6,535		11,985		7,339		7,525		7,525	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称								指標の計算式等			
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度【目標値】			
実績値		0	0	0	0			0			
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等										
	B) Aにおける対応策										
	C) 新たな課題等	組織改編が予定されており、予算の付け替え等が見込まれる。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input checked="" type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による		<input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による		<input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる		<input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望			
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施										
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		市道維持管理事業				部名	建設水道部		グループ名	保全グループ	
						課名	建設課				
総合計画	施策大綱(目標)	5	快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	人に優しい交通環境づくり				款	8	土木費	事業開始年度	平成18年度
	施策	3	道路施設の維持管理				項	2	道路橋梁費	事業終了年度	
	主な事業						目	1	道路維持費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費 4795		道路法		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	I		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	②	(ア)③						
2. 事業内容											
事業目的		市道の機能性、利便性、安全性の確保									
事業概要		市道及び駅前広場の維持管理【補修・修繕・清掃】 街路樹の維持管理									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		①市道維持管理修繕 ②街路樹等一括管理 委託料、工事費ほか		①市道維持管理修繕 ②街路樹等一括管理 委託料、工事費ほか		①市道維持管理修繕 ②街路樹等一括管理 委託料、工事費ほか		①市道維持管理修繕 ②街路樹等一括管理 委託料、工事費ほか		①市道維持管理修繕 ②街路樹等一括管理 委託料、工事費ほか	
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	243,470		249,510		280,230		329,842		329,842	
	予算現額	237,070		253,283		316,109					
	決算額	232,820		237,877							
財源	国県支出金	0		0		0		0		0	
	地方債・その他	53,910		48,525		164,755		56,000		56,000	
	一般財源	183,160		204,758		151,354		273,842		273,842	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称								指標の計算式等			
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度【目標値】			
実績値		0	0	0	0	0	0	0			
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	道路施設の老朽化が進行し、早急な修繕工事を要する路線が急増している。									
	B) Aにおける対応策	予防保全的な修繕を率先して実施していくことで、ライフサイクルコストの縮減及び維持管理費の平準化を図る。									
	C) 新たな課題等	小金井駅東地区などの土地区画整理事業区域内について、計画的な道路施設の更新が必要である。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				<input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難		ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている			
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		生活道路修繕事業				部名	建設水道部		グループ名	保全グループ	
						課名	建設課				
総合計画	施策大綱(目標)	5	快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり			予算科目	会計名			新規・継続	継続
	基本施策	2	人に優しい交通環境づくり				款			事業開始年度	平成28年度
	施策	3	道路施設の維持管理				項			事業終了年度	
	主な事業						目			関係法令等	
重点事業区分						経費区分	投資的経費		道路法、下野市生活道路整備修繕要綱		
事業の種類		ハード事業	類型区分	I		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	②	(ア)③						
2. 事業内容											
事業目的		道路整備に対する要望について、道路整備評価基準票及び道路修繕評価基準票に基づき評価を行い、総合評価の高い路線から順に整備・修繕を実施することで、偏りのない道路整備と効率的且つ効果的な道路整備を可能とする。									
事業概要		下野市生活道路整備検討委員会で採択された路線を対象とした次の1)～6)掲げる各種工事の実施。 1) 舗装修繕工事 2) 側溝整備 3) 浸透槽設置 4) 敷砂利 5) 道路照明等設置 6) 防護柵設置 7) 側溝清掃									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		【舗装修繕ほか】 生活道路整備検討委員会採択路線		【舗装修繕ほか】 生活道路整備検討委員会採択路線		【舗装修繕ほか】 生活道路整備検討委員会採択路線		【舗装修繕ほか】 生活道路整備検討委員会採択路線		【舗装修繕ほか】 生活道路整備検討委員会採択路線	
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	52,000		53,333		45,300		42,790		42,790	
	予算現額	26,858		41,670		36,240					
	決算額	25,029		39,105							
財源	国県支出金	0		0		0		0		0	
	地方債・その他	0		41,000		36,000		0		0	
	一般財源	26,858		670		240		42,790		42,790	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称								指標の計算式等			
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度【目標値】			
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	舗装の老朽化は勿論のこと、市街地において排水施設が整備されていない路線が存在しており、降雨時の排水対策が急務となっている。									
	B) Aにおける対応策	公共下水道雨水管の整備時期と調整を図り、暫定的な雨水処理施設として浸透槽等を設置し、降雨時の雨水処理に努める。									
	C) 新たな課題等	近年の気候変動等により台風や豪雨による生活道路の冠水などの被害が発生している。内水氾濫に対する取り組みも必要である。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input checked="" type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				令和3年度						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		市道大規模修繕事業				部名	建設水道部		グループ名	保全グループ	
						課名	建設課				
総合計画	施策大綱(目標)	5	快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	人に優しい交通環境づくり				款	8	土木費	事業開始年度	平成18年度
	施策	3	道路施設の維持管理				項	2	道路橋梁費	事業終了年度	
	主な事業						目	1	道路維持費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	投資的経費		4837	道路法、下野市幹線道路大規模修繕計画、下野市舗装長寿命化修繕計画	
事業の種類		ハード事業	類型区分	I		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	②	(ア)③						
2. 事業内容											
事業目的		交通状況の変化や経年劣化により損傷が進行した市道の舗装修繕を計画的に実施することで、道路の長寿命化及び機能性の確保を合せて図る。									
事業概要		1・2級幹線道路及び重要な一般市道を対象とした、路面の定期点検業務及び舗装修繕工事。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		市道大規模修繕 市道1-1号線 市道1-3号線 市道1-8号線 市道1-10号線 市道1-12号線 市道1-14号線	市道大規模修繕 市道1-1号線 市道1-3号線 市道1-12号線 市道1-14号線 市道2-6号線	1-1号線 L=374m 1-3号線 L=1,390m 1-7号線 L=470m 1-8号線 L=690m 1-10号線 L=400m 2-10号線 L=760m 2-14号線 L=750m 2-16号線 L=280m	石橋地区 L=3,000m 南河内地区 L=3,000m 国分寺地区 L=3,000m	石橋地区 L=3,000m 南河内地区 L=3,000m 国分寺地区 L=3,000m					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	141,758	123,528	375,000	320,000	320,000					
	予算現額	76,420	84,380	296,000							
	決算額	75,856	84,007								
財源	国県支出金	0	1,500	5,000	10,000	10,000					
	地方債・その他	68,700	70,300	290,800	310,000	310,000					
	一般財源	7,720	12,580	200	0	0					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	「下野市幹線道路大規模修繕計画」及び「下野市舗装長寿命化修繕計画」に基づき、計画的な事業の実施が必要である。									
	B) Aにおける対応策	令和7年度までは「緊急自然災害防止対策事業債」を活用し、計画的に事業を実施する。									
	C) 新たな課題等	令和7年度以降の国庫補助金又は起債制度の活用について検討が必要である。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施										
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		道路構造物長寿命化事業				部名	建設水道部		グループ名	保全グループ	
						課名	建設課				
総合計画	施策大綱(目標)	5	快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	人に優しい交通環境づくり				款	8	土木費	事業開始年度	平成18年度
	施策	3	道路施設の維持管理				項	2	道路橋梁費	事業終了年度	
	主な事業						目	1	道路維持費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	投資的経費		16460	道路法、橋梁長寿命化修繕計画、アンダーパス長寿命化修繕計画、横断歩道橋等長寿命化修繕計画、小規模附属物長寿命化修繕計画	
事業の種類		ハード事業	類型区分	I		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	②	(ア)③						
2. 事業内容											
事業目的		道路構造物の維持管理を計画的に実施することで、構造物の不具合を早期に発見し、又、早期に対策を講じることで、道路交通の安全を確保することはもとより、ライフサイクルコストの縮減及び予算の平準化を図る。									
事業概要		橋梁、アンダーパス、横断歩道橋等、小規模附属物長寿命化修繕計画に基づく点検および修繕の実施									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		橋梁定期点検 橋梁修繕実施設計 橋梁修繕 アンダーパス修繕実施設計 アンダーパス修繕 小規模附属物修繕		橋梁定期点検 橋梁長寿命化計画(修正) 橋梁修繕 アンダーパス修繕 小規模附属物修繕		橋梁定期点検業務 修繕実施設計 橋梁修繕		橋梁・アンダーパス定期点検 横断歩道橋修繕設計 橋梁・道路附属物長寿命化修繕計画修正 橋梁・アンダーパス修繕工事		橋梁・アンダーパス定期点検 横断歩道橋修繕設計 横断歩道橋修繕工事	
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	60,325		83,918		95,500		181,500		311,900	
	予算現額	114,507		98,683		95,500					
	決算額	50,940		65,940							
財源	国県支出金	23,800		36,925		49,500		88,000		155,870	
	地方債・その他	10,500		61,700		45,700		8,800		114,700	
	一般財源	80,207		58		300		84,700		41,330	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称								指標の計算式等			
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度【目標値】			
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	アンダーパス、横断歩道橋等、小規模附属物についても、長寿命化修繕計画に基づく計画的な更新が必要である。									
	B) Aにおける対応策	小規模附属物のうち道路照明について、各市町の更新状況に係る調査に着手した。									
	C) 新たな課題等	公共施設等総合管理計画との整合を図りながら、計画的な更新が必要である。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		水道施設維持管理事業				部名	建設水道部		グループ名	建設管理グループ	
						課名	水道課				
総合計画	施策大綱(目標)	5	快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり			予算科目	会計名			新規・継続	継続
	基本施策	3	安全で快適な水環境づくり				款			事業開始年度	平成18年度
	施策	1	安全で安心な水道				項			事業終了年度	
	主な事業						目			関係法令等	
重点事業区分						経費区分					
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	②	(ア)③						
2. 事業内容											
事業目的		民間企業の活力、技術力を活用し、水道事業の安定運営を図り、将来に渡り良質な水道水を供給する施設の維持管理の強化を図る。									
事業概要		専門業者が定期的に点検することにより、異常・故障等の早期発見に努める。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		総事業費35,417千円 水道設備維持管理、水質検査、配水場・自家発電・受電設備清掃、施設警備、植栽管理	総事業費33,155千円 水道設備維持管理、水質検査、配水場・自家発電・受電設備清掃、施設警備、植栽管理	総事業費36,810千円 水道設備維持管理、水質検査、配水場・自家発電・受電設備清掃、施設警備、植栽管理	総事業費39,000千円 水道設備維持管理、水質検査、配水場・自家発電・受電設備清掃、施設警備、植栽管理	総事業費39,000千円 水道設備維持管理、水質検査、配水場・自家発電・受電設備清掃、施設警備、植栽管理					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	0	0	0	0	0					
	予算現額	0	0	0							
	決算額	0	0								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	0	0	0	0	0					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	老朽化施設の効率的な維持管理方法の検討が必要である									
	B) Aにおける対応策	専門業者が行う定期的な点検により、早期に異常を発見し修繕を行った									
	C) 新たな課題等	落雷など予見される災害の脅威に対応する施設の増設などの検討が必要である									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input checked="" type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による		<input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による		<input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる		<input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望			
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		水道料金等徴収業務委託				部名	建設水道部		グループ名	企業経営グループ	
						課名	水道課				
総合計画	施策大綱(目標)	5	快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり			予算科目	会計名			新規・継続	継続
	基本施策	3	安全で快適な水環境づくり				款			事業開始年度	平成18年度
	施策	1	安全で安心な水道				項			事業終了年度	
	主な事業						目			関係法令等	
重点事業区分						経費区分			水道事業給水条例 水道事業会計規定 水道事業事務委託規定		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	②	(ア)③						
2. 事業内容											
事業目的		市民サービスの向上と水道事業経営の効率化を図るため、民間企業へ水道料金等徴収業務を委託し、民間企業のノウハウを活用し収納率の向上を図る。									
事業概要		上下水道料金徴収等業務委託 窓口業務、検針業務、調定業務、収納業務、滞納整理業務、開閉栓及び精算業務、給水執行停止業務、その他料金徴収関連業務多数 契約期間：①令和3年6月1日～令和6年5月31日 委託料：134,640,000円(月額(税抜)3,400千円) ②令和6年6月1日～令和9年5月31日 委託料：151,140,000円(月額(税抜)3,817千円) ※②については、プロポーザルにより事業者選定を実施する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		長期継続契約 ・事業費44,550千円(R3年4～5月:7,150千円、R3.6～R4.3月:37,400千円) R3.6月より3か年の新規長期継続契約	長期継続契約 ・事業費44,880千円	長期継続契約 ・事業費44,880千円	長期継続契約 ①(～R6.5.31) ・事業費7,480千円 ②(R6.6.1～R7.3.31) ・事業費41,984千円	長期継続契約 ・事業費50,380千円					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	0	0	0	0	0					
	予算現額	0	0	0							
	決算額	0	0								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	0	0	0	0	0					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値		-	-								
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	安定経営を維持するため、できる限りの経費削減を図る。									
	B) Aにおける対応策	委託業務の内容を検討する。									
	C) 新たな課題等	徴収率の向上を図る。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による		<input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による		<input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる		<input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望			
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		配水管拡張・改良事業				部名	建設水道部		グループ名	建設管理グループ	
						課名	水道課				
総合計画	施策大綱(目標)	5	快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり			予算科目	会計名			新規・継続	継続
	基本施策	3	安全で快適な水環境づくり				款			事業開始年度	平成18年度
	施策	2	強靱で持続可能な水道				項			事業終了年度	
	主な事業						目			関係法令等	
重点事業区分						経費区分					
事業の種類		ハード事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	②	(ア)③						
2. 事業内容											
事業目的		給水区域の拡張により給水人口の増加を図り、管路のループ化を行うことによって安定した水道水の供給を行い、市民生活の維持・向上を図る。 しもつけ産業団地の整備に併せ、管路の整備を行い水道水の安定供給を行う。									
事業概要		状況に合わせた計画的な給水区域の拡張を行い、併せて管路のループ化を図ることにより適正な水質、水圧の確保及び断水の防止を図り、水道水の安定供給に資する。 しもつけ産業団地内の区画道路整備に併せ、配水管の布設工事を実施する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		事業費：32,494千円 ・工事費 27,434千円 ・設計委託費 5,060千円	事業費：28,721千円 ・工事費 22,462千円 ・設計委託費 6,259千円	事業費 119,465千円 ・工事費 36,465千円 80,000千円 ・設計委託費 3,000千円	事業費：93,000千円 ・工事費 10,000千円 80,000千円 ・設計委託費 3,000千円	事業費：23,000千円 ・工事費 20,000千円 ・設計委託費 3,000千円					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	0	0	0	0	0					
	予算現額	0	0	0							
	決算額	0	0								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	80,000,000	0					
	一般財源	0	0	0	-80,000,000	0					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	事業進捗にあわせた工事・業務の調整及び管理が必要である									
	B) Aにおける対応策	関係課との協議を実施し、適切な時期での工事や業務委託の発注を行った。									
	C) 新たな課題等	関係課が行う工事内容や進捗などの情報共有を図ることが必要である									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input checked="" type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input checked="" type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		配水管布設(区画整理)事業				部名	建設水道部		グループ名	建設管理グループ	
						課名	水道課				
総合計画	施策大綱(目標)	5	快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり			予算科目	会計名			新規・継続	継続
	基本施策	3	安全で快適な水環境づくり				款			事業開始年度	平成18年度
	施策	2	強靱で持続可能な水道				項			事業終了年度	
	主な事業						目			関係法令等	
重点事業区分						経費区分					
事業の種類		ハード事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	②	(ア)③						
2. 事業内容											
事業目的		宅地造成整備を行う区画整理地内に配水管を布設することにより、新たな住宅地への安全安心な水道水を提供し住民生活の質の向上を図る。									
事業概要		区画整理事業の進捗により水道未給水地区が発生するため、配水管を布設し未給水地区を解消する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		事業費：39,974千円 ・工事費 34,474千円 ・設計委託料 5,500千円		事業費：48,954千円 ・工事費 48,950千円 ・設計委託料 3,531千円		事業費：23,155千円 ・工事費 20,460千円 ・設計委託料 2,695千円		事業費：40,000千円 ・工事費 35,000千円 ・設計委託料 5,000千円		事業費：40,000千円 ・工事費 35,000千円 ・設計委託料 5,000千円	
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	0		0		0		0		0	
	予算現額	0		0		0		0		0	
	決算額	0		0		0		0		0	
財源	国県支出金	0		0		0		0		0	
	地方債・その他	0		0		0		0		0	
	一般財源	0		0		0		0		0	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称								指標の計算式等			
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	県道部及び区画道路で行なう水道工事と道路工事で、工期や復旧方法の調整が必要である									
	B) A)における対応策	県道部は仮復旧を行い交通に支障が無いように調整と管理を行い、また区画道路では配水管布設後に舗装工事を行ってもらうことで協議を行った									
	C) 新たな課題等	関係課の工事進捗などの情報共有を図ることが必要である									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				<input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難		ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input checked="" type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input checked="" type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている			
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		水道施設整備事業				部名	建設水道部		グループ名	建設管理グループ	
						課名	水道課				
総合計画	施策大綱(目標)	5	快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり			予算科目	会計名			新規・継続	継続
	基本施策	3	安全で快適な水環境づくり				款			事業開始年度	平成18年度
	施策	2	強靱で持続可能な水道				項			事業終了年度	
	主な事業						目			関係法令等	
重点事業区分						経費区分					
事業の種類		ハード事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	②	(ア)③						
2. 事業内容											
事業目的		長期間使用してきた設備は機能低下や故障を起しやすくなり、水道水の供給停止の恐れがある。このため、計画的に設備の更新や改修を行い、機能低下や故障を未然に防止し、安全な水道水を安定的に供給する。									
事業概要		配水施設及び水源施設の更新工事									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		総工事費225,236千円 南第2配水場更新 131,780千円 南12号井導水管整備 85,646千円 7号井ポンプ更新 7,810千円	総工事費 87,472千円 南12号井整備費 87,472千円	総工事費154,088千円 石橋地区井戸掘削 48,818千円 石橋第10水源更新 59,620千円 南河内第1水源更新 45,650千円	総工事費230,000千円 石14号井整備費 110,000千円 南2号井設備更新 60,000千円 国10号井設備更新 60,000千円	総工事費120,000千円 石3号井設備更新 60,000千円 石11号井設備更新 60,000千円 新石橋第1配水場用地買 取費100,000千円					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	0	0	0	0	0					
	予算現額	0	0	0							
	決算額	0	0								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	0	0	0	0	0					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	更新を予定している配水場の配水方法や配置、規模、水源の確保などの在り方について検討が必要である									
	B) Aにおける対応策	対象配水区の水源の状況や配水状況を把握し、配水場更新の方針を決定した									
	C) 新たな課題等	方針に基づく配水場更新の位置や規模など基本的な内容の検討が必要である									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input checked="" type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input checked="" type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		配水管耐震化事業			部名	建設水道部		グループ名	建設管理グループ		
					課名	水道課					
総合計画	施策大綱(目標)	5	快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり			予算科目	会計名			新規・継続	継続
	基本施策	3	安全で快適な水環境づくり				款			事業開始年度	平成18年度
	施策	2	強靱で持続可能な水道				項			事業終了年度	
	主な事業				目				関係法令等		
重点事業区分					経費区分						
事業の種類		ハード事業		類型区分	II		補助団体				
裁量の有無		裁量あり		総合戦略	②		(ア)③				
2. 事業内容											
事業目的		石綿セメント管及び塩ビ管は耐震性が低いため、地震等の災害が発生した場合、管の破損等により断水が起こる可能性がある。耐震管に布設替することにより、災害に強い水道施設を構築する。									
事業概要		令和4年度末 石綿セメント管延長 L= 3,695m 塩化ビニール管延長 L=42,799m									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		工事費 242,473千円 更新実施延長 石綿管 L=1,173m 塩ビ管 L=1,535m		工事費 250,888千円 更新実施延長 石綿管 L=2,481m 塩ビ管 L=1,643m		工事費 212,339千円 更新計画延長 石綿管 L=1,285m 塩ビ管 L=1,774m		工事費 150,000千円 更新計画延長 石綿管 L=1,100m 塩ビ管 L=1,000m		工事費 150,000千円 更新計画延長 石綿管 L=300m 塩ビ管 L=1,800m	
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業費	計画額	0		0		0		0		0	
	予算現額	0		0		0		0		0	
	決算額	0		0		0		0		0	
財源	国県支出金	0		0		0		0		0	
	地方債・その他	0		0		0		0		0	
	一般財源	0		0		0		0		0	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称								指標の計算式等			
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	管路基盤強化と共に、水道水の安定供給のため管路のループ化が必要である									
	B) Aにおける対応策	耐震管に布設替を行い、併せて管路のループ化も行った									
	C) 新たな課題等	関係課と耐震化を予定している管路の情報共有を図る必要がある									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				<input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難		ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input checked="" type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input checked="" type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている			
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による		<input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による		<input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる		<input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望			
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		浄化槽設置補助事業				部名	市民生活部		グループ名	環境政策グループ	
						課名	環境課				
総合計画	施策大綱(目標)	5	快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	3	安全で快適な水環境づくり				款	4	衛生費	事業開始年度	平成18年度
	施策	3	下水道施設の整備				項	1	保健衛生費	事業終了年度	
	主な事業						目	3	環境衛生費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		3784	国：循環型社会形成推進交付金、県：浄化槽設置整備補助金、市：浄化槽設置費補助金交付要綱	
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量なし(一部あり)	総合戦略	④	(ウ)②						
2. 事業内容											
事業目的		公共下水道及び農業集落排水事業の事業計画区域外の地区において、国や県の補助金を受け浄化槽の設置整備を促進し、生活環境衛生と水質の向上を図る。									
事業概要		国及び県の補助金を受けて浄化槽設置者に補助金を交付し、設置のための環境整備を図り、公共下水道、農業集落排水を含めた汚水処理整備率の向上を目指す。									
事業計画(基準年度前後5年間の概要)		令和3年度 補助金交付見込 2,305千円(15件)	令和4年度 補助金交付見込 2,305千円(15件)	令和5年度 補助金交付見込 2,305千円(15件)	令和6年度 補助金交付見込 2,305千円(15件)	令和7年度 補助金交付見込 2,305千円(15件)					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	6,923	6,919	9,917	7,418	7,417					
	予算現額	6,919	6,917	9,338							
	決算額	4,062	3,074								
財源	国県支出金	2,305	2,305	3,035	2,004	2,004					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	4,614	4,612	6,303	5,414	5,413					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		浄化槽補助件数				指標の計算式等					
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	実績値/目標値(15件)				
実績値		5	15	12	9	15					
目標達成率		33.3%		80.0%	60.0%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	浄化槽法改正に伴い浄化槽台帳を整備する義務並びに、浄化槽台帳システムに努める必要がある。									
	B) A)における対応策	浄化槽台帳システム整備の方法を複数案検討したうえで、次年度に実施できるよう予算計上した。									
	C) 新たな課題等	令和5年度に台帳システムのためのデータ整理作業、令和6年度以降にGISと連携したシステムを整備する必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	見直し実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	B				必要性	B					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	見直し実施				見直し実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	見直し実施				-						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		公共下水道事業				部名	建設水道部		グループ名	整備計画グループ	
						課名	下水道課				
総合計画	施策大綱(目標)	5	快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり			予算科目	会計名			新規・継続	継続
	基本施策	3	安全で快適な水環境づくり				款			事業開始年度	平成18年度
	施策	4	下水道経営の健全化及び経営基盤強化				項			事業終了年度	
	主な事業				目				関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠外経費		都市計画法、下水道法、下水道条例		
事業の種類		ハード事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	②	(ア)③						
2. 事業内容											
事業目的		都市の持続的かつ健全な発展、公衆衛生の向上及び公共用水域の水質の保全に寄与することを目的に、汚水処理施設の整備を行っております。また、市街地に降った雨を効率的に河川等へ放流し浸水被害の防止を図ることを目的に、雨水処理施設の整備を行っております。さらには大規模な地震時でも、避難所等重要施設の下水道機能を損なわず、維持し続けられるための耐震事業を進めております。									
事業概要		汚水処理施設：南河内地区（仁良川地区土地区画整理事業地内）及び石橋地区（上古山・下石橋・中大領・下大領地内）における汚水管渠の整備 雨水処理施設：南河内地区（仁良川地区土地区画整理事業地内）及び石橋地区（石橋第三工業団地内）における雨水管渠の整備 総合地震対策：重要な施設に指定されている、既存汚水処理施設の耐震化事業									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		事業費 614,629千円 台帳修正等業務 管渠実施設計業務 汚水工事L=2,639m 雨水工事L=440.1m 汚水ます設置工事	事業費 673,449千円 台帳修正等業務 雨水基本設計等業務 スリム点検調査業務 地震対策計画策定 汚水工事L=3,175m 雨水工事L=609m 汚水ます設置工事	事業費 520,495千円 台帳修正等業務 雨水実施設計業務 耐震設計業務 汚水工事L=1,531m 雨水工事L=196.8m 汚水ます設置工事	事業費 642,433千円 台帳修正等業務 雨水実施設計業務 耐震設計業務 汚水工事L=2,925m 雨水工事L=432.7m 汚水ます設置工事	事業費 872,505千円 台帳修正等業務 雨水実施設計業務 耐震設計業務 汚水工事L=5,142m 雨水工事L=361m 汚水ます設置工事					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	0	0	0	0	0					
	予算現額	0	0	0	0	0					
	決算額	0	0	0	0	0					
財源	国県支出金	0	0	0	76,208	198,180					
	地方債・その他	0	0	0	122,325	230,425					
	一般財源	0	0	0	-198,533	-428,605					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		下水道普及率				指標の計算式等					
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	下水道を利用できる人口/全体人口×100				
実績値		78.0%	83.2%	80.1%	81.5%	90.7%					
目標達成率		93.8%		96.3%	98.0%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	近年激化する降雨に伴い、市街地における内水氾濫の危険性が危ぶまれている。汚水に関しては、大規模地震に備えた避難所等の重要施設の耐震対策が必要である。									
	B) A)における対応策	実際浸水している箇所について関係課と協議し、昨年度作成した内水浸水想定区域図も併せて対策を検討していく。耐震対策については、計画を策定し優先順位を決め、進めていく。									
	C) 新たな課題等	今年度事業計画変更を行い整備区域を拡大していくため、関係住民及び地権者への説明及び事業への理解が必要となる。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input checked="" type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				令和5年度						
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		特定環境保全公共下水道事業				部名	建設水道部		グループ名	整備計画グループ	
						課名	下水道課				
総合計画	施策大綱(目標)	5	快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり			予算科目	会計名			新規・継続	継続
	基本施策	3	安全で快適な水環境づくり				款			事業開始年度	平成18年度
	施策	4	下水道経営の健全化及び経営基盤強化				項			事業終了年度	
	主な事業						目			関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠外経費		都市計画法、下水道法、下水道条例		
事業の種類		ハード事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	②	(ア)③						
2. 事業内容											
事業目的		都市の持続的かつ健全な発展、公衆衛生の向上及び公共用水域の水質の保全に寄与することを目的に、汚水処理施設の整備を行っております。また、大規模な地震時でも下水道機能が損なわれず機能を維持し続けられるための耐震事業を行っております。									
事業概要		汚水処理施設：南河内地区（葉師寺・仁良川地内）及び国分寺地区（小金井・笹原・柴・姿川西部地内）における污水管渠の整備 総合地震対策：重要な施設に指定されている、既存汚水処理施設の耐震化事業									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		事業費 246,590千円 台帳修正等業務 管渠実施設計業務 污水工事L=525m 污水ます設置工事	事業費 223,639千円 台帳修正等業務 管渠基本設計業務 污水工事L=1,040m 污水ます設置工事	事業費 202,588千円 台帳修正等業務 管渠実施設計業務 污水工事L=1,004m 污水ます設置工事	事業費 515,793千円 台帳修正等業務 管渠実施設計業務 污水工事L=2,824m 污水ます設置工事	事業費 222,943千円 台帳修正等業務 管渠実施設計業務 污水工事 L=2,616m (舗装本復旧) 污水ます設置工事					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	0	0	0	0	0					
	予算現額	0	0	0							
	決算額	0	0								
財源	国県支出金	0	0	0	178,500	41,100					
	地方債・その他	0	0	0	208,757	53,307					
	一般財源	0	0	0	-387,257	-94,407					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称		下水道普及率				指標の計算式等					
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】	下水道を利用できる人口/全体人口×100				
実績値		78.0%	83.2%	80.1%	81.5%	90.7%					
目標達成率		93.8%		96.3%	98.0%						
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	経営の更なる効率化を図るため、農業集落排水施設を段階的に公共下水道へ統合する必要がある。また、大規模地震に備えた避難所等の重要施設に繋がる管渠の耐震対策が必要となる。									
	B) Aにおける対応策	農業集落排水施設の公共下水道への統合については、生活排水処理構想の計画に基づき、施設の古い順から進めていく。施設の耐震化については、総合地震対策計画を策定し、優先順位を決め進めていく。									
	C) 新たな課題等	旧南河内町エリアの農集（吉田西、下坪山、吉田東、成田町田）については、延長が長いのと、田川及び国道4号線の横断が必要なため、最適なルートを検討及び関係機関との調整が必須となる。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input checked="" type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施										
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施										
備考											

令和5年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		農業集落排水事業				部名	建設水道部		グループ名	給排水グループ	
						課名	下水道課				
総合計画	施策大綱(目標)	5	快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり			予算科目	会計名			新規・継続	継続
	基本施策	3	安全で快適な水環境づくり				款			事業開始年度	平成18年度
	施策	4	下水道経営の健全化及び経営基盤強化				項			事業終了年度	
	主な事業				目				関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠外経費				
事業の種類		ソフト事業	類型区分	II		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	②	(ア)③						
2. 事業内容											
事業目的		農業集落排水施設の維持管理									
事業概要		農業集落排水施設の日常的な保守管理については民間業者に委託する。保守点検・調査等により発見した不具合、又は苦情要望等については、必要に応じた修繕等を行う。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
		管路延長105.65km、マンホールポンプ60箇所、クリーンセンター8箇所の維持管理 事業費：116,059千円	管路延長105.65km、マンホールポンプ60箇所、クリーンセンター8箇所の維持管理 事業費：116,059千円	管路延長105.65km、マンホールポンプ60箇所、クリーンセンター7箇所の維持管理 事業費：116,059千円	管路延長91.61km、マンホールポンプ54箇所、クリーンセンター6箇所の維持管理 事業費：104,221千円	管路延長91.61km、マンホールポンプ54箇所、クリーンセンター6箇所の維持管理 事業費：104,221千円					
◎事業費											
(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業費	計画額	0	0	0	0	0					
	予算現額	0	0	0							
	決算額	0	0								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	104,221	104,221					
	一般財源	0	0	0	-104,221	-104,221					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和2年度【目標値】	令和3年度	令和4年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	接続率の向上									
	B) Aにおける対応策										
	C) 新たな課題等										
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											